

令和5年1月会議

速報版

津幡町議会会議録

令和5年1月19日開会

令和5年1月19日散会

津幡町議会

令和5年津幡町議会1月会議会議録

目 次

1. 出席議員、欠席議員	1
1. 説明のため出席した者	1
1. 職務のため出席した事務局職員	1
1. 議事日程（第1号）	2
1. 本日の会議に付した事件	2
1. 開会・開議（午前10時00分）	3
1. 会議期間の報告	3
1. 議事日程の報告	3
1. 会議時間の延長	3
1. 会議録署名議員の指名	3
1. 諸般の報告	3
1. 議案上程（議案第1号、議案第2号）	3
1. 議案に対する質疑	8
1. 委員会付託	8
1. 休 憩（午前10時30分）	8
1. 再 開（午後2時35分）	8
1. 委員長報告	8
1. 委員長報告に対する質疑	9
1. 討 論	9
1. 採 決	9
1. 閉議・散会（午後2時38分）	9
1. 署名議員	10

令和5年1月19日（木）

○出席議員（15名）

議長	森山時夫	副議長	八十嶋孝司
1番	小町実	2番	森川章
3番	竹内竜也	5番	西村稔
6番	荒井克	8番	角井外喜雄
9番	酒井義光	10番	塩谷道子
11番	多賀吉一	12番	向正則
13番	道下政博	14番	谷口正一
16番	河上孝夫		

○欠席議員（1名）

15番	洲崎正昭
-----	------

○説明のため出席した者

町長	矢田富郎	総務部長	吉田二郎
総務課長	酒井英志	企画課長	細山英明
財政課長	杉田純也	町民生活部長	中村豊
生活環境課長	中嶋徹郎	健康福祉部長	羽塚誠一
産業建設部長	山崎勉	都市建設課長	本多克則
会計管理者 兼会計課長	納口達也	消防長	松本聖史
消防本部 庶務課長	中川俊介	教育長	吉田克也
教育部長	吉岡洋	教育総務課長	山崎明人
河北中央病院事務長 兼事務課長	斎藤晶史		

○職務のため出席した事務局職員

議会事務局長	山本幸雄	議会事務局主幹	山本慎太郎
総務課担当課長	田中圭	監理課係長	山本匡教
財政課主事	村田哲人	企画課主事	長谷川直人

○議事日程（第1号）

令和5年1月19日（木）午前10時00分開議

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 諸般の報告

日程第3 議案等上程（議案第1号、議案第2号）

（質疑・委員会付託）

議案第1号 令和4年度津幡町一般会計補正予算（第9号）

議案第2号 令和4年度津幡町下水道事業会計補正予算（第1号）

○本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

午前10時00分

＜開会・開議＞

- 森山時夫議長 ただいまから、令和5年津幡町議会を開会いたします。
本日の出席議員数は、定数16人中、15人であります。
よって、会議の定足数に達しておりますので、これより本日の会議を開きます。

＜会議期間の報告＞

- 森山時夫議長 本1月会議の会議期間は、会議日程表のとおり、本日1日間といたします。

＜議事日程の報告＞

- 森山時夫議長 本日の議事日程は、配付のとおりであります。

＜会議時間の延長＞

- 森山時夫議長 なお、あらかじめ本日の会議時間の延長をしておきます。
また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、議場内でのマスクの着用を許可しておりますので、御了承願います。

＜会議録署名議員の指名＞

- 森山時夫議長 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。
本1月会議の会議録署名議員は、津幡町議会会議規則第127条の規定により、議長において13番 道下政博議員、14番 谷口正一議員を指名いたします。

＜諸般の報告＞

- 森山時夫議長 日程第2 諸般の報告をいたします。
本1月会議に説明のため、地方自治法第121条第1項の規定により、出席を求めた者の職、氏名は、配付のとおりでありますので、御了承願います。
次に、監査委員から地方自治法第235条の2第3項の規定による令和4年11月分に関する例月出納検査、地方自治法第199条第9項の規定による令和4年度定期監査及び財政援助団体等監査の結果報告がありました。報告書を配付しておきましたので、御了承願います。
以上をもって、諸般の報告を終わります。

＜議案上程＞

- 森山時夫議長 日程第3 議案上程の件を議題とし、議案第1号及び議案第2号を一括して上程いたします。
これより町長に提案理由の説明を求めます。
矢田町長。

〔矢田富郎町長 登壇〕

- 矢田富郎町長 本日ここに、令和5年津幡町議会1月会議が開かれるに当たり、町政の概況報告と提出議案の概要につきまして御説明申し上げます。

令和5年の年が明け、町民の皆様には健やかに新春をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。

新型コロナウイルスの新規感染者数が全国的に増加傾向にある中、3年ぶりに迎える行動制限のない年末年始は、ふるさとや行楽地で過ごす人たちが各交通機関や高速道路が昨年に比べ大変混雑したようであります。

そのような状況の中、県内における昨年12月の新型コロナウイルスの新規感染者数は、3万8,984人となり、11月に比べ、1万2,167人の増となりました。また、お亡くなりになられた方は69人で、コロナ感染第7波での9月の46人を大きく上回り、1カ月当たりでは過去最多となりました。年末年始は、医療機関の休診や検査数が減少したこともあり、新規感染者数は比較的少なくて推移していましたが、1月5日から3日連続で2,000人を超えるなど、現在も多くの新規感染者数が報告されております。

石川県が示すモニタリング指標では、病床使用率が50%以上で高どまりの状態が続いており、医療提供体制が心配されるところでございます。さらに、今月5日、県は3年ぶりにインフルエンザの流行期に入ったと発表いたしました。今シーズンは新型コロナウイルス感染症との同時流行が懸念されていることから、町民の皆様におかれましては、改めて手洗いやマスクの着用など基本的な感染対策の徹底と3密の回避に努めていただくとともに、重症化などを防ぐためにも積極的なワクチン接種を行っていただきますようお願いを申し上げる次第でございます。

さて、この冬の降雪状況でございますが、昨年の12月19日から24日にかけて、今シーズン一番となる寒気の影響で、県内の広い範囲で大雪となりました。

県内の被害状況につきましては、人的被害といたしまして除雪作業などにより、お亡くなりになられた方が2人、負傷された方が7人の合計9の方が被害に遭われました。本町におきましても24日の16時ごろ、山北地内で90代の女性が自宅周辺の除雪作業中に、付近の用水に誤って転落し、倒れているところを発見され、病院へ救急搬送されましたが、その後お亡くなりになりました。

19日には、能登地方を中心に雪の重みによる倒木が多数発生し、電線が切断されたことにより多くの世帯で停電が発生したほか、県道など多くの路線で通行どめとなり、一部、孤立する集落も発生いたしました。

また、23日から24日にかけては、県内全域に大雪警報が発表され、JR七尾線やIRいしかわ鉄道など公共交通機関において、運休や遅延が発生し、多くの利用客に影響を及ぼしました。さらに、国道8号の舟橋ジャンクションから小矢部市桜町までの区間及び北陸自動車道砺波インターチェンジから金沢森本インターチェンジまでの区間において、集中除雪を実施するため、同時に通行どめとなりました。この通行どめに伴う、当該路線及びほかの路線への車の流入による渋滞や立ち往生など心配されましたが、大きな混乱は発生いたしませんでした。

本町では、19日に役場で10センチメートル、倶利伽羅で28センチメートルの降雪量を観測したことから、今シーズン初めて町内全路線の除雪作業を実施いたしました。

また、23日から24日にかけて、役場で22センチメートル、倶利伽羅で59センチメートルの降雪量を観測する大雪となり、町内全路線の除雪を2回実施したところでございます。

被害状況につきましては、先ほども申し上げましたとおり、人的被害としてお一人の方がお亡くなりになられ、また農業施設でビニールハウス2棟の破損がございましたが、倒木による通行

規制や電線の破損などの被害はありませんでした。引き続き、気象情報には十分注意し、通勤・通学・物資の輸送など、町民生活に支障を来さないよう、関係機関と連携を図り、円滑な道路交通を確保するため、万全の体制で対応してまいりたいと考えております。

今回の大雪により、被害に遭われた方におかれましては、心からお悔やみとお見舞いを申し上げる次第でございます。

大雪による被害のほか、12月18日には湯端などで発生した突風により、住宅など16棟に屋根のトタンの剥がれや、飛散物による窓ガラスの破損などの被害が発生いたしました。幸いにもけが人などの人的被害はございませんでした。この突風について金沢地方気象台は、当時の風の強さや向きなど付近の住民に聞き取るなど現地調査を行いました。調査の結果、竜巻など突風の種類は特定できませんでしたが、秒速約40メートルと推定されるとの発表でございました。

また、12月23日午前4時10分に、加賀爪や中橋などの一部地域で風雨による停電が発生いたしました。最大409戸で発生した停電は、午前8時46分に全て復旧いたしました。

さらに、1月10日午後8時2分に、倶利伽羅及び笠谷地区の一部集落で、電気設備の故障による停電が発生いたしました。最大631戸で発生した停電は、午後11時22分に全て復旧いたしました。今回の停電につきましては、幸いにも住民からの体調不良などの連絡もなく安堵した次第でございます。

今回の大雪への対応と今後の降雪に万全を期すため、道路除雪に係る補正予算を本1月会議に提案させていただいたところでございます。

令和5年は卯年でございます。ことしは60年に一度の癸卯という年だそうでございます。どういう意味があるのかと申し上げますと、これまで苦勞してきたことや努力してきたことが実を結び、勢いよく成長して飛躍する年になると言われているそうであります。コロナ禍以降、停滞し続けていた世の中から、希望が芽吹く春が訪れ、私たちの生活が大きく向上する年になってほしいと願うばかりでございます。

町政におきましては、4月1日から旧つばた幼稚園園舎を全面改修した福祉教育プラザが業務を開始するとともに、4月下旬には町民の念願でありました屋内温水プールアザレアがオープンいたします。これらの施設を有効に活用して、本町の魅力を積極的にアピールし、定住促進に努めるとともに、住民福祉のさらなる向上、町民の皆様の安全安心を最優先に、職員の英知を結集し、心豊かに住んでよかったと実感できるまちづくりを力強く進めてまいりますので、議員各位の御理解、御協力を賜りますようお願いを申し上げます。

それでは、今年の議会12月会議以降の町政の概況についてご報告いたします。

12月4日に東京両国国技館で行われました第71回全日本相撲選手権大会において、本町の中村泰輝選手が優勝し、アマチュア横綱2連覇に輝いたことから、12月13日、役場で津幡町特別功労スポーツ賞を贈呈いたしました。贈呈式には、森山議長並びに八十嶋副議長に御臨席を賜りました。中村選手は大学卒業後、大相撲の世界に進むということで、3月場所もしくは5月場所から角界デビューと聞いております。持ち味であるパワーとスピードをさらに磨いていただき、けがには十分注意を払い、稽古に励んでほしいと思っております。そして、一日でも早く関取となり、将来は横綱になることを期待し、これからも私を含め、町民一丸となり精一杯の応援をしたいと考えているところでございます。

12月14日、津幡町と株式会社PLANTとの間で、災害救助に必要な物資の調達及び建物・駐車場

の一部使用に関する協定の締結式を行いました。本協定は、大規模災害が発生した場合に、本町からの要請に基づき、株式会社PLANTが取り扱う物資及び機材の供給並びに建物・駐車場の一部使用について協力していただくものでございます。本町との協定締結により、被災者が安心して生活を送るための体制強化を図るものでございます。今後、本町の災害対策への協力をお願いするとともに、有事に備え、平時からの連携・協力をお願いしたところでございます。

12月22日から25日にかけて、東京都駒沢体育館でレスリングの天皇杯全日本選手権大会が開催され、本町出身の金城梨紗子選手と川井友香子選手の姉妹がそれぞれ出場いたしました。

姉の梨紗子選手は、オリンピックの階級ではありませんが、59キログラム級に出場し、5年ぶり4度目の優勝を果たしました。

一方、妹の友香子選手は、62キログラム級に出場しましたが、残念ながら準決勝で敗れ、その際に、昨年10月に痛めた腰のけがを再発してしまいました。

今大会からパリオリンピックの出場をかけた予選が始まったわけですが、お二人には事実上、パリオリンピックの切符がかかることし6月に行われる明治杯全日本選抜選手権で優勝し、さらにプレーオフを制し、ことし9月の世界選手権の代表となり、3位以内を目指し、パリオリンピック代表を決めていただきたいと思います。

そのために、友香子選手には一日も早くけがを治していただきたいと思いますところがございます。そして、お二人にとってこれから厳しい練習の日々が続くと思いますが、悔いの残らないよう頑張ってください、私も精一杯の応援をさせていただきます。

年が明け1月8日、文化会館シグナスにおきまして、令和5年津幡町二十歳のつどいを開催いたしました。令和4年4月の民法改正により、成年年齢が18歳に引き下げられ、令和5年からの成人式は、津幡町二十歳のつどいに名称を変更し、引き続き20歳の方を対象に開催することといたしました。

ことしの式典は、会場入り口での検温、手指消毒及びマスク着用による感染症対策を講じた上で、3年ぶりに津幡中学校及び津幡南中学校の両校区一斉によるコロナ禍前の通常に近い形で、来賓や御家族の方にも参列いただき開催いたしました。

式典には、新成人対象者443人のうち、73.6%となる326の方が出席されました。式辞では、津幡町の将来を担う若者たちの門出を心からお祝いを申し上げるとともに、改めて大人としての自覚やふるさと津幡への誇りと愛着を持っていただくようお願いもさせていただきました。

今後の新成人の皆様の若き情熱と力に大きな期待を寄せ、洋々たる未来を切り開いていただきたいと思いますところがございます。

また、同じ日に、ノエビアスタジアム神戸で行われました第31回全日本高等学校女子サッカー選手権大会決勝で、本町出身の安藤麻耶選手が所属する静岡県藤枝順心高校が日本一に輝きました。安藤選手は守備のかなめとして全5試合にフル出場し、優勝に大きく貢献いたしました。安藤選手の活躍は、私を含め町民の皆さんに元気を与えてくれたのではないかと考えているところがございます。4月からは神奈川大学に進学し、サッカーを続けるということで、けがには十分気をつけていただき、今後ますますの活躍を期待するものでございます。

1月17日、津幡町と株式会社石川トヨペットカローラとの間で、災害時における電力供給等の協力に関する協定締結式を行いました。本協定は、大規模災害が発生した場合に外部給電可能なハイブリッド自動車等を用いた避難所への電力供給や、株式会社石川トヨペットカローラ津幡店

を避難場所として開放し、被災者を一時的に受け入れることについて協力していただくことで、被災者が安心して生活を送るための体制強化を図るものでございます。今後とも有事に備え、平時からの連携をお願いしたところでございます。また、町民の皆様には災害時の対応等の啓発活動に活用していただきたいとの趣旨から、災害時に使用する防災リュックとラジオ付きライトやエアーマットなど18種類の防災用品を備えた緊急持出袋を5セット寄附していただき、改めて感謝申し上げますとともに、今後、有効に活用してまいりたいと思っておりますのでございます。

それでは、本日提出いたしました議案につきまして、その概要を御説明申し上げます。

議案第1号 令和4年度津幡町一般会計補正予算（第9号）について。

本補正は、歳入歳出それぞれ3億2,578万3,000円を追加するものでございます。

初めに、歳入の主なものについて御説明申し上げます。

分担金及び負担金では、笠野地区ほ場整備等に伴う県営土地改良事業に係る農林水産業費分担金として、900万円を増額するものです。

国庫支出金では、マイナポイント事業に係る総務費国庫補助金、保育環境改善等事業に係る民生費国庫補助金及び国の補正予算採択による道路メンテナンス事業や道路交通安全施設等整備事業などに係る土木費国庫補助金の増により、8,008万5,000円を増額するものでございます。

県支出金では、出産・子育て応援事業に係る民生費県補助金として、3,321万3,000円を追加するものでございます。

寄附金では、株式会社島製作所からの寄附による認定こども園運営費に係る民生費寄附金及び小中学校振興費に係る教育費寄附金として、200万円を追加するものでございます。

繰入金では、財源調整による財政調整基金として、8,878万5,000円を増額するものでございます。

町債では、国の補正予算採択により増額となる県営土地改良事業負担金に係る農林水産業債及び消雪施設整備事業や橋梁整備事業等に係る土木債を増額するほか、河合谷宿泊体験交流施設整備事業に係る商工債の増により、全体で1億1,270万円を増額するものでございます。

続いて、歳出の主なものについて御説明申し上げます。

総務費では、マイナポイントの対象となるマイナンバーカード申請期限の延長に伴い、人材派遣委託料や事務用機器購入費に係る個人番号カード事務費203万5,000円を増額するものでございます。

民生費では、原油価格の高騰に伴い、生活困窮世帯等への灯油購入費用の一部助成に係る灯油購入費助成事業費や、妊娠期から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援と経済的支援を一体的に実施する出産・子育て応援事業費を追加するものでございます。また、株式会社島製作所からの寄附金により、井上保育園の遊具を更新するほか、民間認定こども園2園の園児送迎用バスにおける園児の置き去り防止のための安全装置設置補助金に係る認定こども園等運営費を合わせ、全体で4,634万7,000円を追加・増額するものでございます。

農林水産業費では、国の補正予算採択に伴い、笠野地区ほ場整備事業や新三郎池老朽ため池整備事業に係る県営土地改良事業負担金4,900万1,000円を増額するものでございます。

商工費では、キンシュレの空調設備室外機の雪害対策における凍結防止ヒーターなどの取付工事や大海川の護岸工事に伴う移転補償費等に係る河合谷宿泊体験交流施設整備事業費484万4,000円を増額するものでございます。

土木費では、国の補正予算採択に伴い、通学路緊急対策事業に係る町道津幡2号線ほか1路線の町道整備事業費、道路メンテナンス事業に係る町道庄39号線（中須加歩道橋）ほか4橋の橋梁補修事業費及び社会資本整備総合交付金（防災安全）に係る町道津幡駅前線消雪施設ほか3施設の消雪施設整備事業費をそれぞれ増額するものでございます。さらに今後の降雪を見込んだ除雪委託料に係る道路除雪費を合わせ、全体で2億2,075万7,000円を増額するものでございます。

教育費では、株式会社島製作所からの寄附金により、児童用図書の購入に係る小学校学校図書費及び液晶ディスプレイの購入に係る中学校学校備品費をそれぞれ増額するほか、常設相撲場の柱などの構造体の老朽化に伴う劣化調査・診断業務委託料に係る体育振興施設管理費を合わせ、全体で279万9,000円を増額するものです。

第2表地方債補正は、県営土地改良事業ほか4件の事業について、限度額を変更するものです。

議案第2号 令和4年度津幡町下水道事業会計補正予算（第1号）について。

本補正は、資本的収入支出それぞれ3,190万円を増額するものです。国の補正予算採択に伴い、汚水管渠マンホール耐震化工事を実施するもので、収入として企業債、国庫補助金を、支出として建設改良費をそれぞれ増額するものです。

企業債の補正につきましては、公共下水道事業において限度額を変更するものでございます。

以上、緊急を要する案件といたしまして、本1月会議に御提案を申し上げました議案の概要を御説明申し上げたところでございますが、関係常任委員会におきまして、担当部課長より詳細に説明いたしますので、原案のとおり決定を賜りますようお願いを申し上げまして、提案理由の説明とさせていただきます。

<議案に対する質疑>

○森山時夫議長 これより議案に対する質疑に入ります。

質疑はありませんか。……ありませんので、質疑を終結いたします。

<委員会付託>

○森山時夫議長 ただいま議題となっております議案第1号及び議案第2号は、配付してあります議案審査付託表のとおり、所管の常任委員会に付託いたします。

この際、暫時休憩いたします。

休憩中に常任委員会で、議案の審査方よろしく願いいたします。

〔休憩〕 午前10時30分

〔再開〕 午後2時35分

○森山時夫議長 ただいまの出席議員数は、15人であります。

定足数に達しておりますので、休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

議案第1号及び議案第2号を一括して議題といたします。

<委員長報告>

○森山時夫議長 これより常任委員会における付託議案に対する審査の経過及び結果につき常任委員長の報告を求めます。

酒井義光予算決算常任委員長。

〔酒井義光予算決算常任委員長 登壇〕

○酒井義光予算決算常任委員長 予算決算常任委員会に付託されました案件について、関係部課長の出席を求め、慎重に審査いたしました結果について御報告いたします。

議案第1号 令和4年度津幡町一般会計補正予算（第9号）については、全会一致をもって原案を妥当と認め、可といたしました。

次に、議案第2号 令和4年度津幡町下水道事業会計補正予算（第1号）については、全会一致をもって原案を妥当と認め、可といたしました。

以上、予算決算常任委員会に付託されました案件についての審査結果を本会議に送付するものであります。

報告を終わります。

○森山時夫議長 これをもって委員長報告を終わります。

＜委員長報告に対する質疑＞

○森山時夫議長 これより委員長報告に対する質疑に入ります。

質疑はありませんか。……ありませんので、質疑を終結いたします。

＜討 論＞

○森山時夫議長 これより討論に入ります。

討論はありませんか。……ありませんので、討論を終結いたします。

＜採 決＞

○森山時夫議長 これより議案採決に入ります。

議案第1号及び議案第2号を一括して採決いたします。

委員長の報告は、いずれも原案可決とされております。

お諮りいたします。

委員長の報告どおり決することに、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○森山時夫議長 異議なしと認めます。

よって、議案第1号及び議案第2号は、いずれも原案のとおり可決されました。

＜閉議・散会＞

○森山時夫議長 以上をもって、本1月会議に付議されました案件の審議は、全て終了いたしました。

よって、令和5年津幡町議会1月会議を散会いたします。

午後2時38分

地方自治法第123条第2項の規定により、これに署名する。

議会議長

署名議員

署名議員

参 考 資 料

1. 委員会審査付託表	1
1. 委員会審査結果表	2

令和5年津幡町議会1月会議
常任委員会議案審査付託表
予算決算常任委員会

議案番号	件名
議案第1号	令和4年度津幡町一般会計補正予算（第9号）
議案第2号	令和4年度津幡町下水道事業会計補正予算（第1号）

令和5年津幡町議会1月会議
常任委員会議案審査結果表
予算決算常任委員会

議案番号	件名	議決の結果
議案第1号	令和4年度津幡町一般会計補正予算（第9号）	原案可決
議案第2号	令和4年度津幡町下水道事業会計補正予算（第1号）	〃